

どう生きればいいのか？

人が健康でいるために
あらゆる観点から研究をし続けた
丸山先生が
今あなたに贈るメッセージ！

『十言神呪』 Vol.31からの続きです



丸山アレルギークリニック理事長
丸山 修寛

幸せになる情報マガジン
丸ちゃん通信 vol. 32

2023年8月発行

丸山修寛の呟き



意識がシフトすると

左肩にいる神様に『愛しています。ありがとうございます。許してください。』って言い続けていると、自分の意識が左肩の神様がいるあたりにどんどん引き寄せられていく感じがした。そして、自分の意識が神様のおられるあたりに完全にシフトすると、その位置から自分の身体を見ているような気持ちになる。もう一人の自分が、今の自分を背中の方から見ているような感じだ。例えるなら、まるで、二人羽織の後ろの人が前の人を見ているような感じである。そのまましばらく自分の意識を神様がいる位置に置いておくと、自分の身体をそこ(身体の左やや後ろで神様がいる場所)から動かしているかのような妙な感じがした。

この感覚は、ズึと前(昔)に経験したことがある。ぼくがよちよち歩きをし始めた赤ちゃんの頃、この赤ちゃんの身体を自分が後ろからリモコンで操縦する(赤ちゃんの身体と赤ちゃんを動かしている意識は魂の緒のようなものでしっかりとつながっている。それは無線のリモコンができる前にはやっていた有線でつながっているリモコンのおもちゃとリモコンを動かす子供との関係に似ている。)かのように動かしていた記憶だ。赤ちゃんの身体を操縦し始めた最初の頃は、自分の意識でうまく赤ちゃんの身体を操縦することができず何度も転ばしてしまった覚えがある。しばらくすると赤ちゃんの身体をうまく操縦することに慣れてきた。これを自転車の初乗りに例えて説明すると、自転車の乗り方を練習して、はじめはうまく乗れずに何度も転んでいたのが、だんだん自転車に乗るのがうまくなつて、補助輪なしで自由自在に自転車に乗れた時のような感覚だ。このころは、赤ちゃんの身体と赤ちゃんを動かしている意識は別だと思っていたような気がする。ところが、赤ちゃんの身体を自分の意識で自由自在に動かせるようになると、自分が赤ちゃんの身体の左やや後ろにいたことをすっかり忘れてしまったのだ。

最近になって、自分の意識を神様のおられるあたりにシフトできるようになってからは、徐々に、そのことを思い出しましたが、僕一人だけの妄想かもしれない。



愛しています。
ありがとうございます。
許してください。

身体と同化

エヴァンゲリオンという漫画がある。そこに登場する巨大なロボットの中に、人間が乗り込むと、人間の意思に反応してロボットの身体を自分の体のように、思い通りに動かせるという漫画だ。ロボットを操縦していた人が、あまりにこのロボットが自分の通りに動くので、自分がロボットに乗り込んで操縦していることを忘れてしまう。そしてロボットそのものが初めから自分の身体であるかのように思い始める。(これはエヴァンゲリオンのストーリーではなくぼくが描いたストーリーです。)

赤ちゃんの頃から人間の身体を左後ろから動かしてきた意識(今回のお話では神として紹介してきた意識)は、自分が主に人間の外側から人間の身体を動かしてきたのをすっかり忘れてしまった。そして人間の身体の内側から人間の身体を動かしていると思うようになった。その結果、自分とは身体のなかだけにいるのだと思うようになってしまった(これを意識と身体の同化と言う)。そして、意識と体の同化が起こると、身体が死ぬと意識も消えてしまうという誤解が生まれた。すると、身体を守ることだけが人生の目的になってしまふこともある。これは、身体に隸属した生き方、人間の身体に束縛された不自由な生き方だ。そうならないためにも左にいる神様に気づくことは重要だ。

丸ちゃん通信 VOL. 32 (2023年8月15日発行)

◎発行：丸山 修寛 ◎問い合わせ先：info@maruyamanobuhiro.com

◎編集・送付元：株式会社ユニカ

※この案内は株式会社ユニカでダイレクトメール送付希望登録されているお客様へもお送りしています。

※配信停止を希望される方は、上記アドレスまでご連絡をお願いします。

大好評の
DVD・音声教材は
こちら
QRコードから



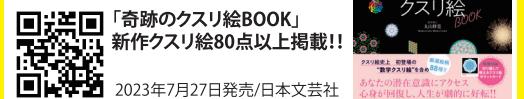
今回のクスリ絵 希望

希望と名づけられたこの絵柄には、心を落ち着かせる、しっかりと地に足をつけた行動ができる、人間関係のバランスをとれるというパワーが秘められています。こうした作用がうまく絡み合って喜びのエネルギーとして放射され、あなたの日々に喜ばしいことが次々と起こりやすくなります。いつでも身に着けておくとよいでしょう。

クスリ絵®とは

眺める・触れるだけで体の不調が消え、運気が上がる「クスリ絵」は、医師・丸山修寛が研究・開発したオリジナルのアート。

神聖幾何学、数字、パワーを持つ形によって描かれた「クスリ絵」は、生命エネルギーの調整や人間が持つ自然治癒力、潜在能力を引き出すのに最適な形や色でつくられたものです。



「奇跡のクスリ絵BOOK」
新作クスリ絵80点以上掲載!!

2023年7月27日発売/日本文芸社

※このクスリ絵は切り取って飾ったりファイルしたりしてもご使用いただけます。

あなたの人生を 良きものに創造する

奇跡の立体カラバラ

神器

立体カバラは神器の一つです。神器には、鏡、勾玉、剣がありますが、立体カバラはこのうちの剣にあたると考えています。実際カバラの専門書には剣について触れられている箇所があります。私が初めて立体カバラを手にしたとき、そばに誰もいないのにもかかわらず、耳のすぐそばでアーロンの杖という言葉が聞こえました。アーロンの杖とはモーゼがエジプトから脱出してシナイ半島にわたるときに、海を二つに割って人が通れる道をつくったという伝説の杖です。剣と杖には長いという共通点があるので立体カバラは剣だと考えられています。

神器というのは、神の器と書きます。これは神（神性）が入る器ということを意味します。立体力バラも神器であるため、神（神性）が入る器（容器や形）ということになります。

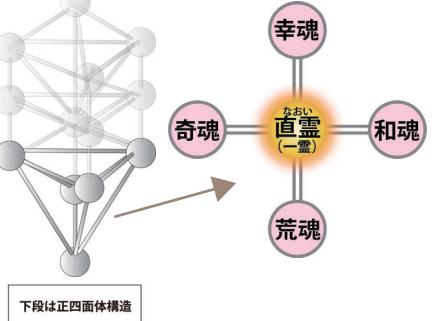
立体力バラはあくまでも器であるため、そこに神（神性）を導き入れる必要があります。神（神性）を立体力バラに招くものがあなたという存在であり、それはあなた自身の心の奥底に在る内なる神（神性）と外なる神（神性）を一つにすることでもあるのです。具体的にいうと、人体の内側にある立体力バラ構造は二重構造をしていますが、この二つを共鳴させ、まるで一つのもののように両者がシンクロして働くようになります。方法は立体力バラを持って人体立体力バラを身体の外側にイメージするだけです。それで二重構造は共鳴し、本来の働きを発揮します。

生命の樹と立体力バラ

生命の樹と立体カバラのスフェアと
パスの数は同じではありません。平面
の生命の樹のスフェアは 10 個で、立
体力カバラのスフェアは 13 個です。スフェ
アは立体カバラの方が 3 個多いので
す。パスの数は生命の樹が 22 本、立
体力カバラが 36 本であり、立体カバラ
の方が 14 本多いことになります。

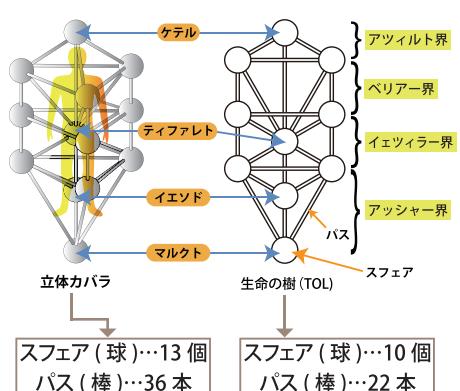
そのため生命の樹のスフェアやパス

の名称をそのまま立体カバラにあてはめることはできません。現時点では立体カバラの3個のスフェアと14本のパスにどのような名称をつければいいのかわかりません。そこで、これらにはあえて今、名前を付けないでそのままにすることにしました。



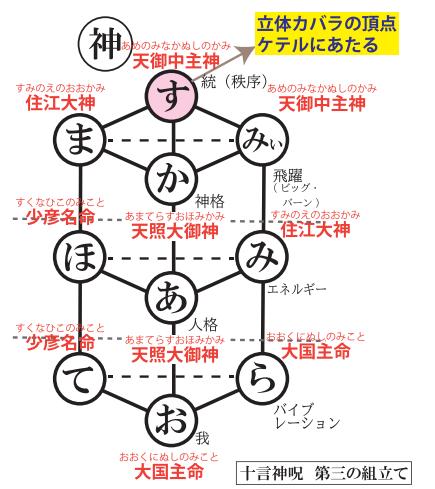
立体力バラのイエツィラー界

立体カバラのアッシャー界の上にあるのが、イエツィラー界です。ここにはティファレトというスフェアがあります。ティファレトというスフェアは、ケトル、イエソトを含む8個のスフェアとつながっています。ティファレトは立体カバラの中でも、他のスフェアとのつながりが最も多いスフェアです。



立体力バラのアッシャー界

立体力バラの下の部分、私たちが住むアッシャー界は正四面体の構造をしています。正確には正四面体をひっくり返したような形をしています。正四面体は物質としては最も安定した形です。この正四面体の中心にイエソドという名のスフェアがあります。アッシャー界には5つのスフェアがあります。これを神道では一靈四魂といいます。一靈四魂と5つのスフェアは対応しています



連載 第5回



立体カラーバーを使うことは、あなたの自身の心の奥底に在る内なる神（神性）と外なる神（神性）を一つにすることでもあるのです。